

JVC

B5A-1110-00

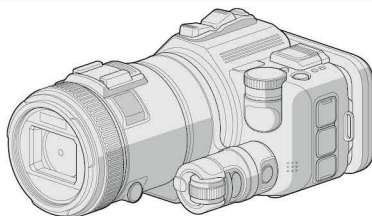
JP

ビデオカメラ

型名 **GC-LJ25B**

基本取扱説明書

保証書付き



お買い上げありがとうございます。
ご使用前に、「安全上のご注意」(p. 2) および「使用上のご注意」(p. 30) を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。



ユーザーガイド

本製品には「基本取扱説明書」(本書)と「ユーザーガイド」があります。
詳しい取り扱い方法は下記アドレスの「ユーザーガイド」をご覧ください。

■ <http://manual3.jvckenwood.com/c3z2/lj25jp/>

準備
する撮影
する再生
する

その他

本製品は、スポーツセンシング社製無線ユニットを接続してお使いいただけます。
詳しくは無線ユニットの取扱説明書をご覧ください。



安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと



一般的注意



感電注意



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



水場での使用禁止



一般的指示

実行して欲しいこと

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

バッテリーをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
弊社カスタマーサポートセンターに修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。



危険

「死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」
内容を示しています。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはいけません



禁止

- プラス (+) とマイナス (-) のまちがい
- 金属物 (ネックレス、ヘアピンなど) といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温 (60℃以上) になる場所に置く
- 落としたり、強い衝撃を与える

- ・ 誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。
万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
- ・ 液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
- ・ 液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- ・ 液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
- ・ バッテリーを持ち運ぶときは、必ずバッテリーキャップをしてください。
- ・ 幼児の手の届くところには置かないでください。



禁止

変形や破損したバッテリーは、そのまま放置したり使用しないで処分する

- ・ そのまま放置したり使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。(バッテリーの処分方法については、「使用上のご注意」の「バッテリーの処分について」をご覧ください。)
- ・ ご購入時は充電されていません。充電してお使いください。
- ・ 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。

● 長期間使わないときは…

- ① 30%程度充電された状態 () で保存してください。
- ② 半年に1度程度は、満充電→使い切るの操作をし、30%程度充電された状態 () で保存してください。



警告

「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。



禁止

内部に物を入れない

・ SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。



禁止

レンズを直射日光などに向けない

・ 集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。



禁止

乗り物を運転中に使用しない

・ 交通事故の原因になります。



水場での使用禁止

雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所で使用しない

・ 本機の上に、水や液体が入った容器などを置かないでください。
・ 水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。



禁止

付属の電源コードを他の機器に使用しない

・ 火災や感電、故障の原因になります。



警告

「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。



分解禁止

分解・改造をしない

・火災や感電の原因になります。



禁止

付属のACアダプター以外は使用しない

・火災や感電、故障の原因になります。



禁止

付属のACアダプターを他の機器に使用しない

・火災や感電、故障の原因になります。



一般的注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。



一般的注意

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む

・本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。



禁止

電源コードを傷つけない

・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

コンセントやACアダプター(電源/DCプラグ)に、ほこりや金属を付着させない

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因になります。



感電注意

雷がなったら、電源プラグには触らない

・感電の原因になります。



一般的指示

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。



フラッシュ発光部、AF補助光は至近距離(数cm)で人の目に向けない・直接見ない

・誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

・乳幼児を撮影するときは、1m以上離してください。

・運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故の原因となります。



注意

「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。



一般的指示

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う

・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。



一般的指示

グリップベルト、ハンドグリップをゆるんだまま使用しない

・落下によるけがや故障の原因になります。

また、お子様は大人と一緒にお使いください。



一般的指示

三脚を確実に取り付ける

・落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧になり、しっかりと取り付けてください。



一般的指示

移動するときは電源プラグや接続コード類ははずす

・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。



一般的指示

熱くなる部分に長時間触れない

・カメラ使用時、本体表面が多少熱くなります。温度が高くなる部分に長時間触れていると低温やけどの原因となることがあります。付属のハンドグリップのご使用をおすすめします。



一般的指示

使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす

・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。



禁止

湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない

・火災や感電、故障の原因になります。



禁止

熱源の近くでは、使用しない

・火災や故障の原因になります。



禁止

フラッシュ発光部、AF補助光を被写体へ至近距離(数cm)で発光させない・直接手で触らない・ゴミなど異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

・やけどの原因になることがあります。

・発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

・発光直後は、しばらく触らないでください。

もくじ

安全上のご注意	2
付属品を確かめる	4
各部のなまえとはたらき	5
液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき	6
タッチパネルの使い方	7

準備する

グリップベルトを調節する	8
レンズキャップを取り付ける	8
レンズフードを取り付ける	9
モニターフードを取り付ける	9
バッテリーを充電する	10
時計を合わせる	11
SD カードをセットする	12

撮影する

動画を撮る	13
静止画を撮る	15

再生する

本機で映像を見る/削除する	17
テレビで映像を見る	18

その他

無線 LAN(Wi-Fi) 機能を使う	20
メニュー操作のしかた	21
レインカバーを取り付ける	27
困ったときは	28
使用上のご注意	30
仕様	32
保証とアフターサービス	39

付属品を確かめる

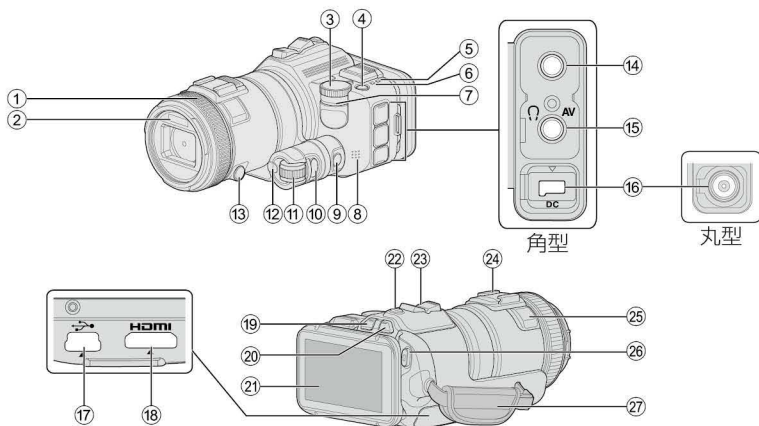


※1: AC コードを取り付けてお使いください。

※2: DC 端子が角型の場合は、AC アダプターのプラグに変換ケーブルを取り付けてください。
DC 端子が丸型の場合は、変換ケーブルは付属しません。

- SD カードは別売です。本機で使える SD カードの種類については、p. 12 をご覧ください。
- 紛失等で専用 AV コードをお買い求めの際は、最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。(p. 39)
- 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。
- レインカバーの使用方法は p. 27 をご覧ください。

各部のなまえとはたらき

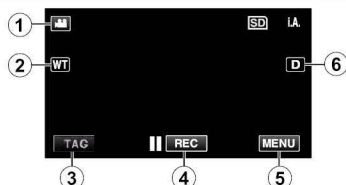


- ① フォーカスリング
手動でピントを合わせます。
- ② ライト(p. 22)/フラッシュ(p. 23)
- ③ 撮影ダイヤル
撮影モードを切り換えます。
- ④ 〇(電源)ボタン
- ⑤ ACCESS(アクセス)ランプ
- ⑥ POWER/CHARGE(電源/充電)ランプ
(p. 10)
- ⑦ セルフタイマーランプ / タリーランプ
- ⑧ スピーカー
- ⑨ TIME CONTROL ボタン
撮影速度選択画面を表示します。
- ⑩ EXPOSURE ボタン
露出補正画面に切り換えます。
- ⑪ 調節ダイヤル
撮影速度や露出値などを選びます。
- ⑫ SET ボタン
撮影速度や露出値を決定します。
- ⑬ FOCUS ボタン
マニュアルフォーカスに切り換えます。
- ⑭ EXT.PORT 端子
スポーツセンシング社製無線ユニットを接続するときに使用します。
- ⑮ AV 端子(p. 18)/ヘッドホン端子
- ⑯ DC 端子(p. 10)
- ⑰ USB 端子
- ⑱ HDMI 端子(p. 18)
- ⑲ 再生/撮影切換ボタン(p. 17)
- ⑳ 動画/静止画(動画/静止画)ボタン(p. 6、p. 13、p. 15)
- ㉑ 液晶モニター
- ㉒ SNAPSHOT(静止画撮影)ボタン
(p. 15)
- ㉓ ズーム / 音量レバー(p. 13、p. 17)
- ㉔ シュー
スポーツセンシング社製無線ユニットを取り付けます。
- ㉕ ステレオマイク
- ㉖ START/STOP (動画撮影) ボタン
(p. 13)
- ㉗ グリップベルト (p. 8)

液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき

動画モードと静止画モードで、以下の画面が表示され、タッチパネルとして使用できます。(p. 7)

撮影画面(動画/静止画)



① 動画/静止画(動画/静止画)切替ボタン

② メモリーズームボタン

③ タグボタン (動画のみ)

撮影中にタグを挿入することが出来ます。

④ 撮影開始/停止ボタン(p. 13)

⏏ REC 動画撮影開始ボタン

● REC 動画撮影停止ボタン

⑤ メニューボタン(p. 21)

⑥ 画面表示切替ボタン

一部の表示は約3秒間で消えます。

(シンプル表示)

ボタンを押すと、すべてを表示させることができます。(フル表示)

ボタンを押すたびにシンプル表示とフル表示を切り換えることができます。

再生画面(動画)



① 動画/静止画(動画/静止画)切替ボタン

② 一覧表示(サムネイル表示)ボタン

③ 削除ボタン

④ メニューボタン(p. 21)

⑤ 操作ボタン(p. 17)

⑥ 再生ズームボタン

再生画面(静止画)



① 動画/静止画(動画/静止画)切替ボタン

② 一覧表示(サムネイル表示)ボタン

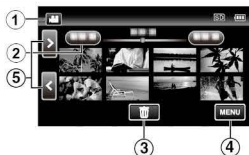
③ 削除ボタン

④ 再生ズームボタン

⑤ メニューボタン(p. 21)

⑥ 操作ボタン(p. 17)

一覧表示(サムネイル表示)



- ① 動画/静止画(動画/静止画)切替ボタン
- ② 日付ボタン
- ③ 削除ボタン
- ④ メニューボタン (p. 21)
- ⑤ ページ送り / 戻しボタン

メニュー画面(撮影モード)



- ① Wi-Fi メニュー(p. 22)
- ② セットアップメニュー
- ③ 出力設定メニュー
- ④ インフォボタン
- ⑤ 終了ボタン(p. 21)
- ⑥ メディア設定メニュー
- ⑦ お楽しみ撮影メニュー
- ⑧ 撮影設定メニュー

準備
する

撮影
する

再生
する

その
他

タッチパネルの使い方

タッチパネルには「タッチ」と「なぞる」の2つの操作があります。以下は操作例です。

- A** タッチパネル上のボタン(アイコン)やファイル(映像)をタッチして、選択します。
- B** タッチパネル上のファイル(映像)をなぞって、見たい映像を探します。



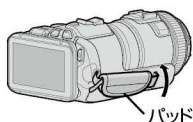
お知らせ

- 本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。スムーズに動かないときは、少し強めに指を押し当てながら操作してください。
- 必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 先の鋭い物で操作しないでください。
- 2箇所以上同時に押すと、誤動作の原因になります。
- タッチパネル上のボタン(アイコン)は正確にタッチしてください。タッチする場所によっては正しく反応しないことがあります。
- 画面をタッチしたとき、タッチパネルの反応する位置がずれている場合は、[タッチパネル調整] (p. 24) を行ってください。(軽くタッチして調整してください。先の鋭い物で押したり、強く押したりしないでください。)

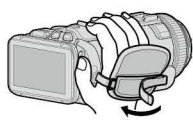
準備する

- レインカバーの使用方法は p. 27 をご覧ください。

グリップベルトを調節する



①パッドをめくる



②ベルトの長さを調節する



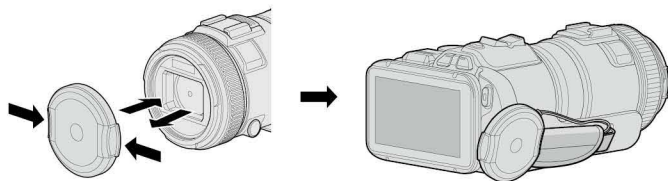
③パッドをしめる

お知らせ

- Wi-Fi アンテナはグリップベルトの内側にあります。
グリップベルトを調節するときは、Wi-Fi アンテナを引き出さないでください。

レンズキャップを取り付ける

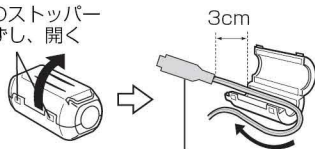
カメラを使わないときや持ち運びするときは、レンズキャップを取り付けてください。
撮影中は、レンズキャップをグリップベルトに取り付けてください。



コアフィルターを取り付ける

USB ケーブルをお使いになるときは、付属のコアフィルターを取り付けてください。
本機に接続したときに発生するのノイズを軽減できます。

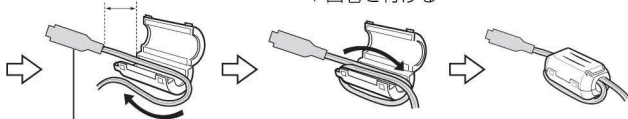
両側のストッパー
をはずし、開く



本機に接続

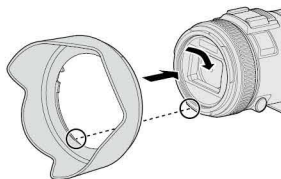
3cm

1 回巻き付ける



レンズフードを取り付ける

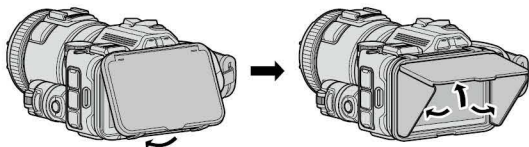
日差しが強い屋外などで撮影するときには、レンズフードを取り付けることをおすすめします。



- レンズフードと本体の指標(●印)を合わせ、回転させて取り付けてください。

モニターフードを取り付ける

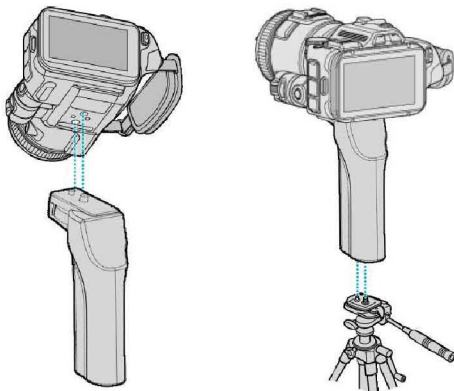
日光などが入り込み、モニター画面が見えにくいときにモニターフードを取り付けてください。



- 液晶モニター上部の溝に、モニターフードの上側のツメを取り付けてから、下側のツメを取り付けてください。

ハンドグリップを取り付ける

本機、ハンドグリップ、三脚(または一脚)を相互に取り付けることが出来ます。手振れを防ぎたいときや、定点撮影するときに便利です。



- 落下を防ぐために、取り付け前に本機、ハンドグリップ、三脚の取り付け用ネジ穴と、位置決め穴の位置を良く確認し、ネジを回してしっかりと取り付けてください。

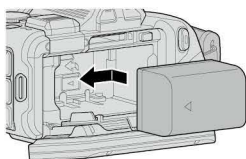
バッテリーを充電する

1 ACコード、ACアダプターを接続する。



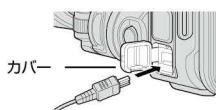
2 バッテリーを取り付ける

- お買い上げ時のバッテリーは、充電されていません。
- 液晶モニター(①)を開いてからバッテリーカバー(②)を開きます。

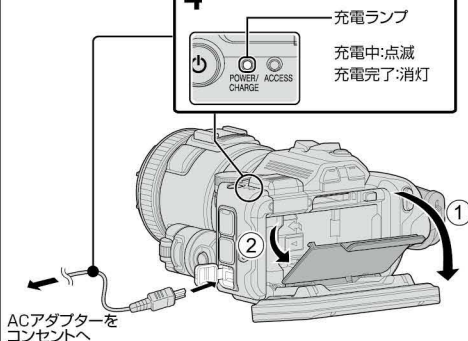


- バッテリーを右側に寄せてから押し込み、「カチッ」と音がするまで左にスライドします。

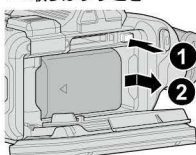
3 DC端子につなぐ



4 コンセントにつなぐ



■ 取りはずすとき



- バッテリーロックレバー(①)を押しながら、バッテリー(②)をスライドさせて取りはずします。

ご注意

必ず同梱、または当社が推奨するバッテリーをお使いください。

- 同梱、または当社の推奨品以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。

- 充電時間: 約 2 時間 10 分 (付属バッテリーの場合)

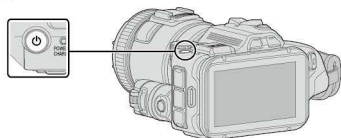
※ 25℃ で使用したときの時間です。室温 10℃ ～ 35℃ の範囲外の場合は、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。充電できない場合、充電ランプがゆっくりした周期で 2 回点滅してお知らせします。その際は、バッテリーをしばらく放置して、もう一度充電を行ってください。

低温など、使用状態によって撮影・再生可能時間は短くなります。

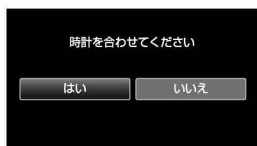
- バッテリー充電中に不具合 (過電圧など) が生じた場合、または同梱品、当社の推奨品以外のバッテリーを充電しようとした場合、充電が停止します。この場合、充電ランプが速く点滅してお知らせします。
- AC アダプターを接続して、撮影や再生ができます。撮影中や再生中はバッテリーを充電できません。) 長時間使用するとき、バッテリーを取りはずしてください。バッテリーをつけたままにすると、バッテリー性能が低下することがあります。

時計を合わせる

1 電源を入れる



2 [時計を合わせてください]が表示されたら、[はい]をタッチする



3 日時を設定する



- [日付]、[時計]の各項目をタッチすると、 $\wedge$ と $\vee$ が表示されます。
- $\wedge$ または $\vee$ をタッチして[日付]、[時計]を合わせます。
- この手順を繰り返して[日付]、[時計]を入力します。

4 日時設定が終わったら、[決定]をタッチする

5 お住まいの地域を選び、[保存]をタッチする(設定完了)

- 都市名と世界標準時(グリニッジ標準時)との時差が表示されます。
- $\lt$ または $\gt$ をタッチして、都市名を選んでください。(日本国内の場合は「東京」)



時計を合わせ直すときは

[セットアップ]メニューの[時計合わせ]から時計を合わせてください。

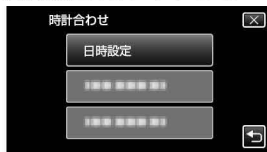
- ① 電源を入れる
- ② [MENU]をタッチする
- ③ [セットアップ]メニューをタッチする



④ [時計合わせ]をタッチする



⑤ [日時設定]をタッチする



- 以降の設定のしかたは、前述の手順3～5と同じです。

お知らせ

- 長期間使用しないと[時計を合わせてください]が表示されます。ACアダプターを24時間以上接続してから、時計を設定してください。(p. 10)

準備する

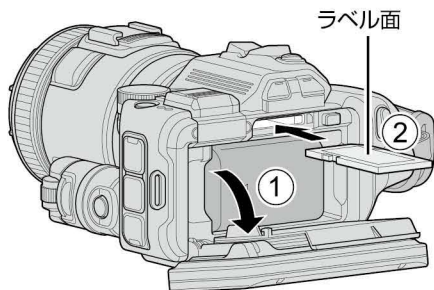
撮影する

再生する

その他

SD カードをセットする

撮影する前に、市販の SD カードを入れてください。



1 液晶モニターを開け、バッテリーカバーを開ける

2 SDカードを入れる

※ SDカードの抜き差しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

■ SD カードを取り出すとき

SD カードを一度押し込んでから、まっすぐ引き抜いてください。

お知らせ

次の SD カードで動作を確認しています。

メーカー名	パナソニック(Panasonic)、東芝(TOSHIBA)、サンディスク(SanDisk)
動画 	Class 6 以上対応の SDHC カード(4 GB ～ 32 GB) または Class 6 以上対応の SDXC カード(48 GB ～ 128 GB)
静止画 	SD カード(256 MB ～ 2 GB)、SDHC カード(4 GB ～ 32 GB)、または SDXC カード(48 GB ～ 128 GB)

- 上記以外の SD カードでは、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。
- すべての SD カードの動作を保証するものではありません。
SD カードの仕様変更などにより使用できない場合があります。
- SD カードの端子部を触らないでください。データが消えることがあります。
- パソコンで SDXC カードを使用する場合は、お使いのパソコンの OS をご確認ください。パソコンの OS の対応状況は、ユーザーガイドでご確認ください。
- 1 枚の SD カードで動画と静止画を記録できます。動画で動作確認された SD カードをお使いになることをお勧めします。

動画を撮る

インテリジェントオート撮影を使えば、細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。撮影状況に応じて、明るさやフォーカスなどを自動的に調整します。

- 人物の撮影など、特定の撮影場面では、場面に応じたアイコンが画面に表示されます。

大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

ズームを使う



(望遠側)



(広角側)

1 電源を入れる



2 撮影モードが [] に なっているか確認 する



- [] 静止画モードになっているときは、[] / [] ボタンを押して切り換えます。

3 撮影モードが i.A. インテリジェント オートを確認する

- i.A. 以外になっているときは、撮影ダイヤルを i.AUTO に合わせて切り換えます。

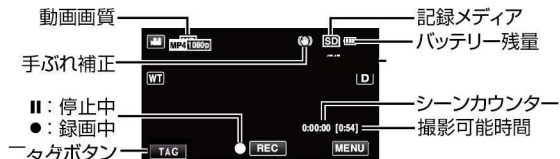
4 撮影を開始する



- もう一度押すと、停止します。

- タッチパネルの [REC] ボタンでも撮影できます。撮影を停止するときは、● [REC] ボタンを押します。

■ 動画撮影中の表示



お知らせ

- 撮影時間の目安は、付属のバッテリーで約60分です。(p. 26)
- アクセスランプ点灯中は、バッテリー、ACアダプター、SDカードを取り外さないでください。記録済みの画像データが読み出せなくなることがあります。
- 手ぶれ補正の入/切で画角が変わる場合があります。
- [オートパワーオフ] が [入] のときは、何も操作せずに 5 分経つと、節電のために電源が自動的に切れます。

準備する

撮影する

再生する

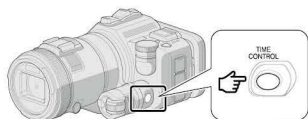
その他

タイムコントロール機能について

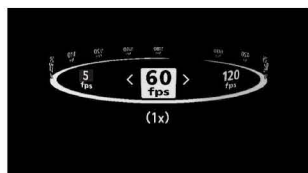
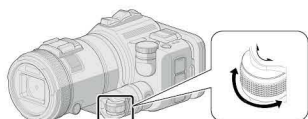
タイムコントロール機能で、高速撮影やタイムラプス撮影がすばやく操作できます。

撮影速度	内容
120fps ～ 600fps	高速撮影します。 再生時に滑らかなスローモーション映像を再生できます。
60fps	通常撮影します。
5fps ～ 1/80fps	タイムラプス撮影します。 ゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。

1 TIME CONTROL ボタンを押す

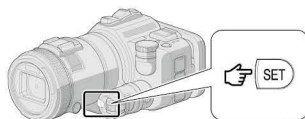


2 調節ダイヤルで撮影速度を選ぶ



- 右に回すと高速撮影、左に回すとタイムラプス撮影になります。

3 SET ボタンを押す



- TIME CONTROL ボタンでも決定します。

4 撮影を開始する



お知らせ

- 撮影した動画に音声は記録されません。
 - 通常撮影に戻すには、TIME CONTROL ボタンを押して、調整ダイヤルで“60fps”を選んでください。
- <高速撮影について>
- 高速撮影を設定している間は、光学ズームのみ使えます。
- <タイムラプス撮影について>
- タイムラプス撮影中は、ズーム操作、静止画同時撮影、および手ぶれ補正が使えません。

静止画を撮る

準備する

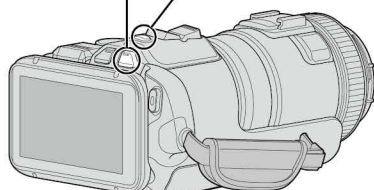
撮影する

再生する

その他

1 撮影モードが [] になっているか確認する

- 動画モードになっているときは、[]/[] ボタンを押して切り換えます。



2 被写体にピントを合わせる

SNAPSHOT

半押し



ピントが合うと緑色に点灯

3 シャッターを切る

SNAPSHOT

全押し



静止画記録中に点灯

- 手ぶれ補正は、半押ししたときのみ動作します。

■ 静止画撮影中の表示

静止画サイズ

記録メディア



バッテリー残量

人:ピント合わせ

PHOTO: 静止画記録中

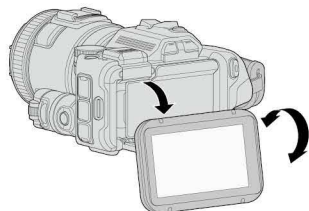
撮影可能枚数

お知らせ

- 本機の温度が上がると回路保護のため、電源が切れることがあります。

■ 液晶モニターの角度を調節する

カメラを高い位置や低い位置に構えて撮影するときなどに、液晶モニターの角度を変えて撮影できます。



お知らせ

- 液晶モニターを動かすときは、接続部が破損しないよう、無理な力を加えず動かしてください。
- カメラを使わないときや持ち運ぶときは、液晶モニターを戻してください。

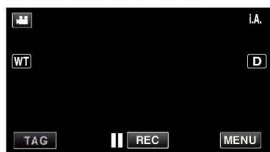
■ ほかの機器で使っていた SD カードをはじめて使うときは

[メディア設定] メニューの [SDフォーマット] でSD カードをフォーマット（初期化）します。

フォーマットすると、SD カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、SD カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。

① 本機の電源を入れる

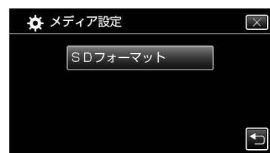
② [MENU] をタッチする



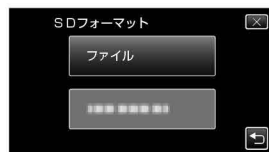
③ [メディア設定] メニューをタッチする



④ [SDフォーマット] をタッチする



⑤ [ファイル] をタッチする



⑥ [はい] をタッチする

⑦ フォーマットが終わったら、[OK] をタッチする

本機で映像を見る/削除する

撮影した動画や静止画を一覧表示（サムネイル表示）から選んで再生します。

- 1** (動画/静止画) ボタンを押して、動画または静止画を選ぶ

- 2** 再生/撮影切換ボタンを押して、再生モードにする

*撮影モードに戻すには、もう一度再生/撮影切換ボタンを押します。

- 3** 再生するファイル(映像)をタッチする



- 再生中に をタッチすると、一時停止します。
- 再生中に をタッチすると、一覧表示画面に戻ります。
(最後に再生したファイルには が表示されます。)
- 静止画の場合、 をタッチするとサムネイル表示がグループ表示と一覧表示に切り替わります。

再生中に音量を調節する



■ 不要な映像を削除するには

- ① をタッチする
- ② 削除するファイルをタッチする
タッチしたファイルに✓が表示されます。
✓表示を消すときは、もう一度タッチします。



- ③ [決定] をタッチする
- ④ 確認メッセージがでたら、[実行する] をタッチする
- ⑤ [OK] をタッチする

■ 動画のシーンを静止画にするとき

お好みの位置で再生を一時停止させ、SNAPSHOT ボタンを押します。

■ 再生中に使える操作ボタン(※)

	動画再生中	静止画再生中
	再生/一時停止	スライドショー開始/一時停止
	停止(一覧表示に戻る)	停止(一覧表示に戻る)
	次の動画に進む	次の静止画に進む
	シーンの先頭に戻る	前の静止画に戻る
	早送り	-
	早戻し	-
	一時停止中にコマ送り/一時停止中に押し続けるとスロー再生	-
	一時停止中にコマ戻し/一時停止中に押し続けると逆スロー再生	-
	-	左に 90 度回転
	-	右に 90 度回転
	-	連写した静止画の連続再生

※ ボタン表示は約 5 秒間で消えます。もう一度表示させるには、画面をタッチしてください。

準備する

撮影する

再生する

その他

テレビで映像を見る

1 テレビに接続する

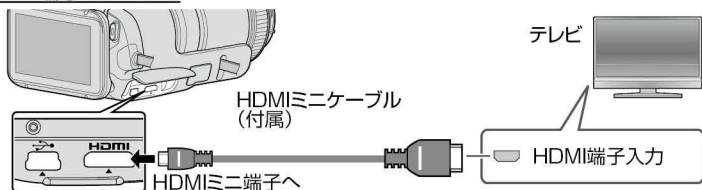
※ お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

- 接続する前にテレビの音量を下げてください。また、ビデオカメラとテレビの電源を切ってから接続してください。

■ ハイビジョン画質で再生するとき

ハイビジョンテレビをお使いの場合は、本機の HDMI ミニ端子に接続するとハイビジョン画質で再生することができます。

HDMI 端子でつなぐ



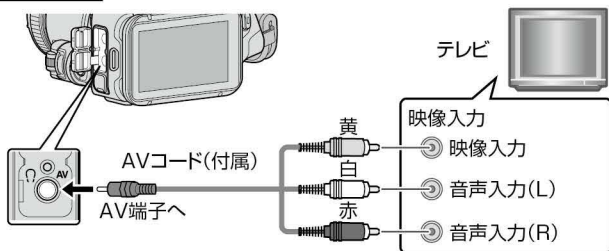
お知らせ

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。
- 付属の HDMI ミニケーブル以外をお使いになるときは、High Speed HDMI ミニケーブルをお使いください。

■ 標準画質で再生するとき

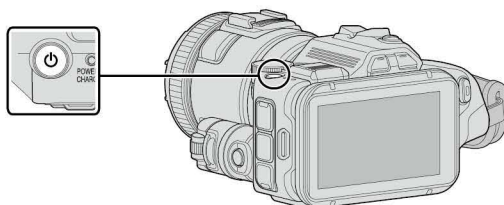
従来のテレビをお使いの場合は、AV 端子に接続すると、標準画質で見ることができます。

AV 端子でつなぐ



2 AC アダプターをつなぐ

3 電源を入れる



4 テレビの入力切換を選ぶ

5 映像を再生する (p. 17)

■ 日時を表示して再生したいときは

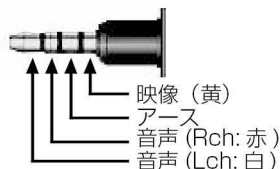
動画再生モードで、[再生設定]メニューの[日時表示]を[入]にしてください。
また、[出力設定]メニューの[テレビ表示]を[入]にしてください。

■ テレビの表示が不自然なときは

テレビに正常に表示されない	- ケーブルを抜き差ししてください。 - 本機の電源を入れ直してください。
テレビに縦長に映る	[出力設定]メニューの[ビデオ出力]を[4:3]に変更してください。
テレビに横長に映る	テレビ側で画面を調整してください。
不自然な色で映る	テレビ側で画面を調整してください。

■ 専用 AV コード(品番: E3A-0085-00)について

4 極ミニプラグ(映像/音声用)の配線仕様は下図のとおりです。
紛失等でお買い求めの際は、最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。(p.39)



無線 LAN(Wi-Fi) 機能を使う

パソコンと無線で接続して、次のようなことができます。
詳しくはユーザーガイドをご覧ください。

■ ダイレクト接続

パソコンと直接接続（ダイレクト接続）して、ビデオカメラを遠隔操作できます。
遠隔操作中は動画撮影が可能です。

■ アクセスポイント接続

無線 LAN ルーターを使用したアクセスポイント経由でパソコンと接続して、ビデオカメラを遠隔操作できます。
遠隔操作中は動画撮影が可能です。

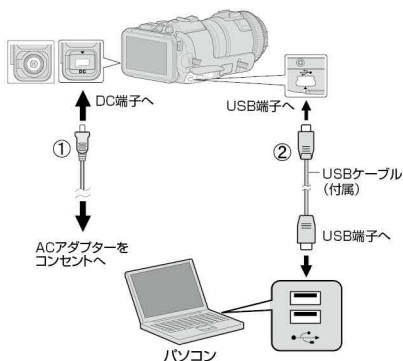
※スポーツセンシング社製の専用 PC アプリケーションをインストールする必要があります。

保存する

撮影した動画や静止画をパソコンに保存することができます。

USB ケーブルと AC アダプターを接続する

- ① 本機の DC 端子に付属の AC アダプターをつなぎ、コンセントにつないでから電源を入れる
- ② 付属の USB ケーブルを使用して、本機とパソコンを接続する



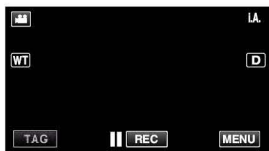
- ③ 画面が切り替わったら、パソコン側で操作してください

※ 詳しくはユーザーガイドをご覧ください

メニュー操作のしかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。

1 [MENU]をタッチする



2 トップメニューの希望するボタンをタッチする

(撮影モードのとき)



3 設定したい項目をタッチする (アイコンタイプの画面)



- <くおよび>でスクロールします。
(リストタイプの画面)



- ^ および v でスクロールします。

■ 設定を終了するとき

× をタッチする

■ 一つ前の画面に戻るとき

⏪ をタッチする

準備
する

撮影
する

再生
する

その他

設定メニュー一覧

 動画 /  静止画 /  撮影

■ [無線 LAN (Wi-Fi) メニュー] (p. 20)

ダイレクト接続

アクセスポイント接続

Wi-Fi 共通設定

 動画 /  撮影

■ [撮影設定メニュー]

(撮影ダイヤルの位置)

フォーカスアシスト(P、A、S、M、U、SCN のみ)

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。

アシストカラー(P、A、S、M、U、SCN のみ)

「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定できます。

ホワイトバランス(P、A、S、M のみ)

光源に合わせて、色合いを調節できます。

テレマクロ(P、A、S、M、U のみ)

ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。

ゼブラ(P、A、S、M、U のみ)

指定した明るさの部分のみ斜線のしま模様(ゼブラパターン)を表示します。

タッチ優先AE / AF (☑ のみ)

人物の顔、またはタッチした部分の色やエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。

ライト

ライトの点灯/消灯を設定します。

手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

感度アップ(P、A、S、M のみ)

暗いところで自動的に明るく調節します。

ウィンドカット

風の音を低減します。

グリッド

被写体の傾きや構図がわかるように格子状の線(グリッド)を表示します。

スマイルショット(☑ のみ)

笑顔を検出したら、動画撮影状態はそのまま、自動的に静止画を撮影します。

スマイル%(☑ のみ)

人物の笑顔度をパーセントで表示します。

動画画質

動画画質を設定します。

ズーム倍率

ズームの最大倍率を設定します。

USER ダイアル

シャッタースピード、絞り、ホワイトバランス、感度アップの設定を保存し、撮影ダイヤルを「U」に合わせるだけで同じ設定で撮影できるようにします。

ズームマイク

ズーム操作に合わせて、指向性のある音声を記録できます。

マイクレベル表示

マイクレベルを表示するか設定します。

マイクレベル設定

マイクレベルを設定します。

ヘッドフォン音量調整

接続するヘッドホンの音量を設定します。

K2 テクノロジー

デジタル信号処理による音質劣化を改善し、原音に近い音質で記録します。

■【お楽しみ撮影メニュー】**フレームイン REC**

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に撮影開始および撮影停止をします。

日時表示記録

動画に撮影日時を入れて記録できます。日時を表示させてディスクなどに保存したいときに設定します。(日時表示を消すことはできません。)

📷 静止画・REC 撮影**■【撮影設定メニュー】**

(撮影ダイヤルの位置)

フォーカスアシスト(P、A、S、M、U、SCN のみ)

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。

アシストカラー(P、A、S、M、U、SCN のみ)

「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定できます。

ホワイトバランス(P、A、S、M のみ)

光源に合わせて、色合いを調節できます。

テレマクロ(P、A、S、M、U のみ)

ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。

タッチ優先AE / AF (📷 のみ)

人物の顔、またはタッチした部分の色やエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。

フラッシュ

フラッシュを発光するか設定します。フラッシュを使用するときは、レンズフードを取りはずしてください。

セルフタイマー

記念撮影するときに使います。

ISO 感度(P、A、S、M、U のみ)

被写体の明るさに応じて ISO 感度を設定します。

手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

スマイルショット(📷 のみ)

笑顔を検出したら、自動的に静止画を撮影します。

スマイル%(📷 のみ)

人物の笑顔度をパーセントで表示します。

静止画サイズ

記録する静止画の大きさ(ピクセル数)を設定します。

グリッド

被写体の傾きや構図がわかるように格子状の線(グリッド)を表示します。

USER ダイアル

シャッタースピード、絞り、ホワイトバランス、ISO 感度の設定を保存し、撮影ダイヤルを「U」に合わせるだけで同じ設定で撮影できるようにします。

■【お楽しみ撮影メニュー】**フレームイン REC**

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に撮影します。

動画・**PLAY** 再生 ■【再生設定メニュー】

日付検索

撮影日から、一覧表示する動画を絞り込みます。

静止画切り出しタイプ

動画から静止画を切り出すときのタイプを選びます。

静止画切り出し間隔

動画からの静止画を連続で切り出すときの間隔を設定します。

日時表示

撮影した日時を表示します。

■【編集メニュー】

プロテクト/解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。

トリミング

動画から必要な部分をコピーし、新しい動画として保存します

静止画・**PLAY** 再生 ■【再生設定メニュー】

日付検索

撮影日から、一覧表示する静止画を絞り込みます。

■【編集メニュー】

プロテクト/解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。

動画/ 静止画共通 ■【セットアップメニュー】

時計合わせ

現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

日付表示配列

年月日の並び順と、時間表示(24h/12h)を設定します。

LANG./言語

メニューなどで表示する言語を設定します。
日本語/英語/フランス語/スペイン語/ポルトガル語/中国語(簡体)/韓国語に対応しています。

モニター明るさ

画面の明るさを調整します。

操作音

操作時に音を鳴らすか設定します。

オートパワーオフ

電源の切り忘れ防止のため、5分放置でバッテリー使用時は電源を切り、ACアダプター使用時は待機状態になります。

高速起動

5分以内に電源を入れると、すぐに起動できます。

タッチパネル調整

タッチパネルボタンの反応位置を調整します。

工場出荷

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ファームウェア更新

本機の機能を最新版に更新できます。

オープンソースライセンス(撮影時のみ)

本機で使用しているオープンソースソフトウェアのライセンスを表示します。

■ [出力設定メニュー]

テレビ表示

テレビで再生するときに、アイコンや日時
の表示を入切できます。

ビデオ出力

接続するテレビに合わせた画面比(16:9 ま
たは 4:3)に設定します。

HDMI 出力

テレビの HDMI 端子に接続するときに、本
機の HDMI ミニ端子の出力を設定します。

HDMI 機器制御

HDMI CEC 規格に対応するテレビと連動します。

■ [メディア設定メニュー]

SD フォーマット

SD カードのファイルをすべて消去 (初期
化) します。

- 詳しい設定内容については、ユーザーガイドをご覧ください。
- メニューの使いかたは、p. 21 をご覧ください。

準備
する

撮
影
す
る

再
生
す
る

そ
の
他

撮影時間/枚数の目安

動画の撮影可能時間の目安

■ ビデオ記録フォーマット :MP4

画質	SDHC/SDXC カード						
	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB	128 GB
MP4 1080p	10 分	25 分	55 分	1 時間 50 分	2 時間 50 分	3 時間 50 分	7 時間 50 分
MP4 720p	40 分	1 時間 20 分	2 時間 40 分	5 時間 30 分	8 時間 30 分	11 時間 20 分	22 時間 50 分
MP4 360p	2 時間	4 時間	8 時間	16 時間 20 分	25 時間	33 時間 30 分	67 時間 10 分

- 撮影可能時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

静止画の撮影可能枚数の目安 (単位 : 枚)

画像サイズ	SDHC/SDXC カード					
	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
4000X3000 (12M) (4:3)	500	1100	2200	4500	9000	9999
2816x2112 (5.9M) (4:3)	1100	2200	4500	9200	9999	9999
2048x1536 (3.1M) (4:3)	2100	4200	8500	9999	9999	9999
1920X1080 (2M) (16:9)	3100	6500	9999	9999	9999	9999
640x480 (0.3M) (4:3)	9999	9999	9999	9999	9999	9999

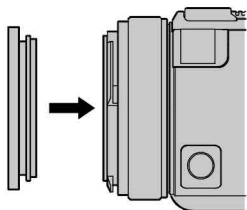
- 動画撮影中に静止画を撮影したとき、および撮影済みの動画から静止画を切り出したときは、1920 x 1080 のサイズで保存されます。

撮影時間の目安(バッテリー使用時)

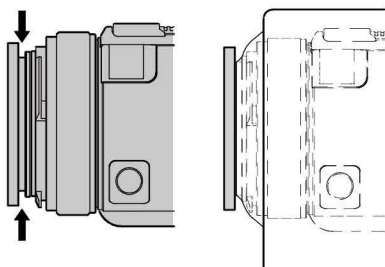
バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間 (最大撮影時間)
BN-VF815	1 時間	2 時間

- [ライト]が[切]、[モニター明るさ]が[3] (標準)のときの値です。
- 実撮影時間は撮影、撮影停止、電源入/切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。実際には、これよりも短くなる場合があります。(撮影予定時間の約 3 倍分を用意することをおすすめします)
- 撮影環境や使用方法によって、撮影時間は変化します。
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。(新しいものに交換してください)

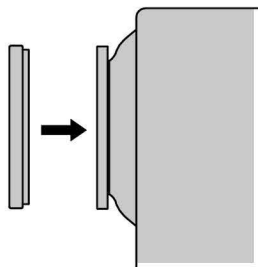
レインカバーを取り付ける



①付属のステップアップリングをレンズに取り付ける



②付属のレインカバーをカメラにかぶせ、レインカバーの穴をステップアップリングのみぞにはめ込む



③付属のレンズフィルターをステップアップリングに取り付ける

準備
する

撮
影
す
る

再
生
す
る

そ
の
他

ご注意

- レインカバーは防水ではありません。弱い雨や水しぶきを防ぐために使用してください。
 - カメラからレインカバーを取り外す前に、カバーに付いた水滴をふき取ってください。カメラに水滴が付いたときは、すみやかに乾いた布などでふき取ってください。
 - カメラ内部の温度上昇を防ぐために、直射日光が当たる状態でレインカバーを使用しないでください。
- ※ 内部温度が上昇すると、安全のためカメラの電源が自動的に切れます。

困ったときは

困った時には修理を依頼する前に以下の手順でご確認ください。

- 1 以下の「こんなときは…」をご覧ください。
- 2 ユーザーガイドの「困ったときは」をご覧ください。
使い方で困ったときもユーザーガイドに詳しい説明が記載されています。
● <http://manual3.jvckenwood.com/c3z2/lj25jp/>
- 3 ホームページで最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。
● <http://www3.jvckenwood.com/dvmain/support/index.html>
- 4 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示や正常に動作しないことがあります。
そのようなときは、以下の手順で本機をリセットしてください。
① 電源を切る。
② 電源(バッテリーとACアダプター)をいったん取りはずし、再度接続して電源ボタンを押すと、本機の電源が入ります。
- 5 上記確認で解決しない場合や不具合がある場合は、弊社カスタマーサポートセンター(P.38)にお問い合わせください。

こんなときは…

こんなときは		ここを確かめてください	参照ページ
電源	POWER/CHARGEランプが点滅する	● バッテリーの充電中です。	10
	撮影できない	● []/[] ボタンを確認してください。 ● 再生/撮影切換ボタンを押して撮影モードにしてください。	13 17
撮影	自動的に撮影が停止した	● 電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください。(本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します。) ● 12 時間連続撮影すると撮影が停止します。	- -
	インテリジェントオートで正しく撮影できない	● 複数の光源がある場所など、撮影状況によっては、インテリジェントオートで明るさやフォーカスが正しく調整できないことがあります。このようなときは、マニュアルで調整してください。	-
再生	音や映像が途切れる	● シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがありますが、故障ではありません。	-

充電中、ランプが点滅しない

- バッテリー残量を確認してください。(バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。)
- 低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電してください。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。)

10

電源/充電ランプとアクセスランプが点滅して操作できない

- 電源を切ったあと、電源(バッテリーとACアダプター)をいったん取りはずし、再度接続したあとに電源ボタンを押して電源を入れてください。解決しない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

本機が熱くなる

- 故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。)

準備する

撮影する

こんな表示がでたら…

こんな表示がでたら

ここを確かめてください

参照ページ

カードへ記録できませんでした

- 本機の電源を入れ直してください。
- 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、[メディア設定]メニューの[SDフォーマット]を実行してください。(データはすべて消えます。)

撮影データが少ないため保存できません

- タイムラプス撮影で、実記録時間の表示が「0:00:00:17」以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。

カードエラー

- 本機の電源を入れ直してください。
- ACアダプターとバッテリーを取りはずし、SDカードを入れ直してください。
- SDカードの端子の汚れを取り除いてください。
- 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、[メディア設定]メニューの[SDフォーマット]を実行してください。(データはすべて消えます。)

再生する

その他

使用上のご注意

- 精密機械ですので、落下や振動・衝撃を与えないでください。
記録や再生ができなくなります。
- 本機、バッテリーなどを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
内部の電池やバッテリーは、高温になると、破裂することがあります。
- 本機をタオルや布などで覆って使用しないでください。
- 撮影したデータはパソコンやDVDなどに保存してください。
データが失われた際、当社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVDなどに定期的に保存してください。3ヵ月に1回程度は保存することをおすすめします。
- 本機やパソコンの機能によるファイルの削除ではSDカードのデータは完全には消去されません。本機を譲渡する際は本機の「工場出荷」を実行し、SDカードを譲渡する際は本機の「SDフォーマット」を実行、または市販のパソコン用データ消去ソフトを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、廃棄の際は物理的に破壊することをおすすめします。
これらの作業はお客様の責任において行ってください。
万が一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

● 分解/改造すること

本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、弊社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
 3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4DS/OF4

- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
- DS/OF : 変調方式がDS-SS、OFDMであることを示します。
- 4 : 電波干渉距離は40mです。
- ■ ■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

バッテリーの処分について

バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
お問い合わせ：一般社団法人JBRC <http://www.jbrc.net/hp/>



Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へ
ご持参ください。

著作権について

- 録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
 - 1) 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC規格に準拠する動画（以下、AVC Video）を記録する場合
 - 2) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、またはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの）を再生する場合
 詳細については、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。
<http://www.mpegla.com>

イラスト・画面表示について

本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

液晶画面について

- 表面を強く押ししたり強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れる場合があります。
- 市販の反射防止フィルムや保護フィルムなどをお使いになれます。
ただし、フィルムの厚みなどによっては、タッチパネルがスムーズに動かなくなったり、多少画面が暗くなる場合があります。

他社製品の登録商標と商標について

- HDMI® (High-Definition Multimedia Interface) と  は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Wi-Fi, Wi-Fi Protected Setup, WPA および WPA2 は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM マークと ® マークを明記していません。
- K2/technology ロゴは株式会社 JVC ケンウッドの商標または登録商標です。

仕様

カメラ本体	
電源	AC アダプター使用時：DC 12 V、バッテリー使用時：DC 7.2 V
消費電力	4.6 W（[モニター明るさ] が [3]（標準）の場合） 定格消費電流：2A
外形寸法（mm）	110 x 76 x 183 （幅 x 高さ x 奥行き：グリップベルト、突起部を含まず）
質量	約 500 g（本体のみ）、約 585 g（付属バッテリー含む）
動作環境	許容動作温度：0℃ ～ 40℃、許容保存温度：－ 20℃ ～ 50℃、 許容相対湿度：35 % ～ 80 %
映像素子	1/2.3 型 1276 万画素（裏面照射 CMOS）
撮像エリア（動画）	MP4 1080p モード 207 万～ 540 万画素（手ぶれ補正：切、ダイナミックズーム：入） MP4 720p / MP4 360p モード 92 万～ 357 万画素（ダイナミックズーム：入）
撮像エリア（静止画）	(4:3) 594 万画素、(16:9) 541 万画素（手ぶれ補正：切）
レンズ	F1.2 ～ F2.8、f= 3.76 mm ～ 37.6 mm 動画（MP4 1080p モード） 35mm カメラ換算：29.5mm ～ 476mm （ダイナミックズーム：入、手ぶれ補正：切） 動画（MP4 720p / MP4 360p モード） 35mm カメラ換算：36.3mm ～ 715mm （ダイナミックズーム：入、手ぶれ補正：切） 静止画 35mm カメラ換算：29.8mm ～ 345mm (4:3) 35mm カメラ換算：34.4mm ～ 397mm (16:9)
ズーム（動画）	光学ズーム：～ 10 倍 ダイナミックズーム：～ 16 倍（手ぶれ補正：切） デジタルズーム：～ 64 倍
ズーム（静止画）	光学ズーム：～ 10 倍
動画記録方式 （MP4）	映像：MPEG-4 AVC/H.264 音声：AAC (2ch)
静止画記録方式	JPEG 準拠
記録メディア	SD/SDHC/SDXC カード（市販）
時計用電池	二次電池

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社「VCケンウッド(以下、「ライセンサー」)」が提供する本製品に組み込まれたソフトウェア(以下、「許諾ソフトウェア」)は、ライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有します。本契約はこの「許諾ソフトウェア」に関するお客様のご使用条件を定めたものです。お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この「許諾ソフトウェア」をご使用いただくものと致します。本契約は、お客様(以下、「使用者」)が「許諾ソフトウェア」を搭載した本製品をご使用された時点で、成立したものと見なされます。なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。この場合、一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別に、お客様に対して直接使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては、本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます[「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」P171]を必ずご覧ください。

第1条(総則)

ライセンサーは、許諾ソフトウェアについて、日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用权(第3条第1項に定める例外を除く)を使用者に許諾します。

第2条(使用权)

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部もしくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改変し、もしくは貸与することができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとします。許諾ソフトウェアは営利目的の否かに関わらず、いかなる目的でも頒布、ライセンス、もしくはサブライセンスをすることができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。

第3条(許諾条件)

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア(その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む)の使用权についても同様に移転することができます。但し、当該移転は、使用者の手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件とします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条(許諾ソフトウェアの権利)

1. 許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等の一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用权と再許諾権を許諾した原権利者(以下、「原権利者」)に帰属するものとします。使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して、本契約に基づき許諾された使用权を除き、いかなる権利を有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとし、ます。

第5条(ライセンサーの免責)

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用权を行使した結果、使用者もしくは第三者に生じた損害に関して、いかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条(第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条(秘密保持)

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち、公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第 8 条(契約の解除)

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第 9 条(許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が解除された場合、使用者は、契約が解除された日から 2 週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第 10 条(輸出規制)

1. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
2. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法(アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます)に従うことに同意するものとします。

第 11 条(その他)

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とする事に合意するものとします。

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、JVC ケンウッド及び第三者が規定したソフトウェア使用許諾契約に基づくソフトウェアコンポーネント(以下、「許諾ソフトウェア」)を使用しております。

許諾ソフトウェアの中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License (以下、「GPL/LGPL」)のライセンスが適用される結果、実行可能な形式のソフトウェアコンポーネントを配布する際に、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にすることが求められています。当該ソースコードの頒布に関しては、以下のホームページをご覧くださいようお願い致します。

ホームページアドレス

<http://www3.jvckenwood.com/download/gpl/index.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問は、お答えしかねますので、予め御了承ください。「GPL/LGPL」の適用を受けない許諾ソフトウェアにつきましては、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただくかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文(英文)を本製品のディスプレイ内で表示します。

- ① カメラの電源を入れる
- ② [MENU] ボタンを押す
- ③ [トップメニュー] → [セットアップ] → [オープンソースライセンス] と選択する

■ 製品についてお困りのことがありましたら・・・

ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは
ビデオカメラサポート情報
<http://www3.jvckenwood.com/dvmain/support/>

無線ユニットや PC アプリケーションのご相談は

スポーツセンシングカスタマーサポートセンター
<http://support.sports-sensing.com/>

 0120-946-146

- 電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 対応時間：10:00～17:00
- 携帯電話・PHS・一部 IP 電話などからは  092-408-1203

取扱い方法などのご相談

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
にご相談ください。

アフターサービスのご相談

お買い上げの販売店、またはJVCケンウッド
カスタマーサポートセンターにご相談ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

 0120-2727-87

月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
・日曜祝日、弊社休業日を除く
・電話番号および受付時間が変更になる場合があります。

- 電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 携帯電話・PHSからは  0570-010-114
- 一部のIP電話などからは  045-450-8950

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

株式会社JVCケンウッドおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地

保証とアフターサービス

修理を依頼される場合（持込修理）

「困ったときは」(P.28) にしたがって、まずご確認ください。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを
取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ビデオカメラ
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■ 保証期間中は

保証書の規定にしたがって販売店にて
修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望に
より有料修理させていただきます。

性能部品の保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その
製品の機能を維持するために必要な部品です。

なお、当社の判断で本体の交換や再生部品を使用させていただく場合があります。

次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。

- (1) 本書のご提示がない場合
- (2) お買い上げ年月日、お買い上げ販売店名が確認できない場合
- (3) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷
- (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷
- (5) 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定以外の使用、電源（電圧・周波数）による故障および損傷
- (6) 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合
- (7) 一般家庭用以外（例えば業務用等への長時間使用および車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷

サービス窓口

下記URLをご覧ください。

<http://www3.jvckenwood.com/support/hrepair.html>

免責事項

- 本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

持込修理

型名	GC-LJ25B		製造番号	
お客様	お名前	ふりがな		
	ご住所	□ □ □ - □ □ □ □ 電話 () -		
お買い上げ年月日		保証期間	お買い上げ日から	
年 月 日			本体 1年間	
お買い上げ店		住所・店名・電話		

お客様へのお願い

- 本書にお買い上げ年月日、お買い上げ販売店名が押印されていない場合は、購入日の確認出来る書類（シールやレシート等）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
- 本書をご提示いただく場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製造番号(S/N番号：本体に貼付されています)、お客様のお名前、ご住所の記入をお願い致します。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

保証の規定につきましては、裏面をご確認ください。

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって（株）JVCケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

株式会社JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地

C3Z 1015TOH-YH-MT